

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
芸術	書道Ⅱ	2	2	選択

教材費・実習費等
年間の教材費：2,000 円程度

到達目標	書道の創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
------	---

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1 学期 中間	仮名 変体仮名、連綿	年間を通じて、鑑賞レポートが課される。 日本独自の仮名文字を学び、その美しさをさまざまな角度からとらえ、表現していく。	
1 学期 期末	作品制作Ⅰ 和歌ちらし書き（うちわ作品） 漢字 古代の文字	好きな和歌を探してることが課される。 ちらし書きの空間の取り方を学ぶ。 文字の成り立ちから、古代の文化や先人の知恵を学び、書での表現方法を知る。	
2 学期 中間	作品制作Ⅱ 篆・隸書を書く（うちわ作品） 作品制作Ⅲ 漢字多字数（掛け軸作品）	さまざまな文字を自分の意図によって、どのように表現するのかを、用具にこだわり、色彩を加え、探っていく。 古典の表現技術だけにとどまらず、作品としてまとまりをつけるにはどのように書いていくとよいのかを学ぶ。	
2 学期 期末	作品制作Ⅳ 漢字少字数 漢字仮名まじり文	文字の果たすコミュニケーション力について考えを深め、それを書的に表現する。 2年間の集大成となる作品にふさわしいことばを考えてくることが課される。	
学 年 末	作品制作Ⅵ 漢字仮名まじり文（パネル作品） 鑑賞会	書道の授業で学んだことだけでなく、これまでのすべての経験をもとに、自分の思いを如何にして平面上に表現するか、模索していく覚悟が必要。	

評価方法と 評価のポイント	出欠状況、準備物の有無、提出課題によって評価する。作品に誠実に取り組み、振り返り、表現力を高められているかがポイント。出席し、提出物を必ず提出すること。
------------------	--

教科からのアドバイス	書道用具（大筆、小筆、墨、筆巻き）については、高等学校での芸術を学ぶにふさわしいものを準備すること。課題を自分で探してることが増えるので、制作に積極的に取り組むことが大切。
------------	--